

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2018年11月5日

上場会社名 ニチアス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5393 URL http://www.nichias.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 俊之  
 問合せ先責任者(役職名) 代表取締役専務執行役員(氏名) 中田 公敬 (TEL) (03)4413-1111  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月8日 配当支払開始予定日 2018年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	106,567	15.7	11,682	22.1	12,208	23.6	8,285	22.7
2018年3月期第2四半期	92,103	8.7	9,572	7.8	9,880	18.2	6,752	19.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 7,772百万円(△5.2%) 2018年3月期第2四半期 8,200百万円(104.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	124.48	—
2018年3月期第2四半期	100.36	100.36

※当社は、2018年10月1日をもって普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	201,448	113,862	56.1
2018年3月期	196,459	109,705	55.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 112,918百万円 2018年3月期 109,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2019年3月期	—	16.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	32.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2018年10月1日をもって普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は16円00銭、1株当たり年間配当金は32円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」をご参照ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	6.3	22,000	3.0	22,500	3.2	15,300	2.3	230.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※2019年3月期の通期の連結業績予測における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
  - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	67,811,917株	2018年3月期	67,811,917株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,474,448株	2018年3月期	789,608株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	66,562,972株	2018年3月期2Q	67,282,598株

※当社は2018年10月1日をもって普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、2018年6月28日開催の第202期定時株主総会にて、株式併合について承認可決され、2018年10月1日をもって同年9月30日（実質同年9月28日）の最終の株主名簿に記載された株主様の所有株式数を基準に、2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。あわせて同日付けで単元株式の変更（1,000株から100株への変更）を実施しております。

当該株式併合考慮前に換算した2019年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- ・2019年3月期の配当予想 1株当たり配当金 通期 32円00銭
- ・2019年3月期の連結業績予想 1株当たりの当期純利益 通期 115円12銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10
3. 補足説明資料	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善基調で推移し、全体としては緩やかな景気回復が続きました。また、海外では米国経済が着実に回復を続けており、中国をはじめ新興国では景気に持ち直しや回復の動きが続いています。

このような状況の中、石油精製・石油化学向けの需要が堅調に推移したプラント向け工事・販売部門と半導体製造装置向け製品の需要が高水準で推移した高機能製品部門を中心に売上高が増加したため、当社グループの売上高は、前年同四半期に対し15.7%増の1,065億67百万円となりました。

一方利益面では、営業利益が116億82百万円、経常利益が122億8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が82億85百万円と前年同四半期と比較し、それぞれ22.1%、23.6%、22.7%の増加となりました。

なお、一部の連結子会社については、決算期を変更したことで第2四半期の連結累計期間が9ヶ月となり、売上高・利益ともに増加しています。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別売上高の状況は以下のとおりです。

**プラント向け工事・販売**については、石油精製・石油化学向けの需要が堅調に推移する中、船舶工事の大型建設案件の完成計上が寄与し、売上高は前年同四半期に対し25.3%増の330億61百万円となりました。

**工業製品**については、ふっ素樹脂製品、無機断熱材の需要が堅調に推移したことに加え、環境製品の需要が高水準で推移したため、売上高は前年同四半期に対し10.2%増の228億57百万円となりました。

**高機能製品**については、半導体製造装置の需要が高水準で推移したため、売上高は前年同四半期に対し20.8%増の132億45百万円となりました。

**自動車部品**については、国内および海外需要が前期並みに推移したこと、および一部の連結子会社の決算期変更の影響を受け、売上高は前年同四半期に対し5.1%増の225億34百万円となりました。

**建材**については、巻付け耐火被覆材の需要が増加したことに加え、フロアの大型物件の完成計上が寄与し、売上高は前年同四半期に対し18.2%増の148億66百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、投資有価証券が16億12百万円減少しましたが、建物及び構築物（純額）が20億89百万円、電子記録債権が18億18百万円、現金及び預金が12億81百万円、商品及び製品が8億42百万円、土地が5億52百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して49億89百万円増加の2,014億48百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、支払手形及び買掛金が38億14百万円減少しましたが、社債（1年内償還予定の社債を含む）が44億円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して8億33百万円増加の875億86百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、自己株式の取得により20億8百万円減少しましたが、利益剰余金が63億7百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して41億56百万円増加の1,138億62百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して12億50百万円増加し277億49百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は54億13百万円（前年同四半期は59億2百万円の獲得）となりました。

これは、法人税等の支払額38億20百万円、未成工事受入金の減少25億65百万円等により資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益119億92百万円、減価償却費27億9百万円等により資金が増加したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は57億96百万円（前年同四半期は70億81百万円の支出）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出56億10百万円、無形固定資産の取得による支出3億93百万円等により資金が減少したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は2億14百万円（前年同四半期は41億98百万円の支出）となりました。

これは、配当金の支払額21億44百万円等により資金が減少しましたが、社債の発行による収入49億97百万円等により資金が増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、現時点において2018年8月6日に発表いたしました2019年3月期の通期の業績予想は修正しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,252	28,534
受取手形及び売掛金	30,297	30,087
電子記録債権	10,031	11,849
完成工事未収入金	15,504	15,127
商品及び製品	10,806	11,649
仕掛品	2,253	2,627
原材料及び貯蔵品	7,609	8,025
未成工事支出金	10,789	10,789
その他	3,990	3,268
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	118,519	121,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,266	50,922
減価償却累計額及び減損損失累計額	△30,164	△30,731
建物及び構築物（純額）	18,101	20,191
機械装置及び運搬具	67,877	68,537
減価償却累計額及び減損損失累計額	△57,527	△58,393
機械装置及び運搬具（純額）	10,349	10,144
土地	14,043	14,596
リース資産	421	493
減価償却累計額	△159	△209
リース資産（純額）	261	283
建設仮勘定	7,439	7,986
その他	8,326	8,657
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,455	△7,684
その他（純額）	870	973
有形固定資産合計	51,067	54,175
無形固定資産		
ソフトウェア	905	877
その他	352	572
無形固定資産合計	1,257	1,449
投資その他の資産		
投資有価証券	18,837	17,224
退職給付に係る資産	1,226	1,300
繰延税金資産	1,649	1,396
その他	3,978	4,034
貸倒引当金	△76	△75
投資その他の資産合計	25,615	23,879
固定資産合計	77,940	79,504
資産合計	196,459	201,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,844	21,029
電子記録債務	9,674	11,836
1年内償還予定の社債	3,800	8,400
短期借入金	11,160	10,830
未払金	4,881	4,898
未払法人税等	3,566	3,597
未成工事受入金	6,684	4,115
賞与引当金	2,995	3,559
その他	3,356	3,434
流動負債合計	70,963	71,700
固定負債		
社債	6,200	6,000
長期借入金	1,500	1,800
繰延税金負債	1,565	1,343
退職給付に係る負債	4,277	4,323
訴訟損失引当金	92	257
その他	2,155	2,162
固定負債合計	15,790	15,886
負債合計	86,753	87,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,128	12,128
資本剰余金	13,857	13,857
利益剰余金	79,680	85,988
自己株式	△2,039	△4,048
株主資本合計	103,626	107,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,759	7,734
為替換算調整勘定	158	△640
退職給付に係る調整累計額	△2,349	△2,101
その他の包括利益累計額合計	5,568	4,992
非支配株主持分	510	943
純資産合計	109,705	113,862
負債純資産合計	196,459	201,448

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
<b>売上高</b>		
商品及び製品売上高	68,085	74,559
完成工事高	24,018	32,007
売上高合計	92,103	106,567
<b>売上原価</b>		
商品及び製品売上原価	48,844	54,089
完成工事原価	20,514	26,900
売上原価合計	69,359	80,989
<b>売上総利益</b>	22,744	25,577
<b>販売費及び一般管理費</b>		
販売費	4,085	4,298
一般管理費	9,086	9,595
販売費及び一般管理費合計	13,172	13,894
<b>営業利益</b>	9,572	11,682
<b>営業外収益</b>		
受取利息	28	44
受取配当金	203	215
為替差益	18	—
受取賃貸料	164	261
持分法による投資利益	30	21
その他	110	268
営業外収益合計	556	811
<b>営業外費用</b>		
支払利息	80	73
為替差損	—	17
その他	167	194
営業外費用合計	248	285
<b>経常利益</b>	9,880	12,208
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	12	10
特別利益合計	12	10
<b>特別損失</b>		
設備休止損失	68	—
訴訟損失引当金繰入額	92	165
固定資産除売却損	95	61
特別損失合計	256	226
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	9,635	11,992
法人税、住民税及び事業税	2,986	3,666
法人税等調整額	△111	△18
法人税等合計	2,875	3,647
<b>四半期純利益</b>	6,759	8,345
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,752	8,285



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	6,759	8,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,375	△25
為替換算調整勘定	△109	△797
退職給付に係る調整額	175	250
その他の包括利益合計	1,441	△572
四半期包括利益	8,200	7,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,200	7,710
非支配株主に係る四半期包括利益	0	62

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,635	11,992
減価償却費	2,199	2,709
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	110	45
賞与引当金の増減額 (△は減少)	547	561
受取利息及び受取配当金	△231	△259
支払利息	80	73
為替差損益 (△は益)	116	112
売上債権の増減額 (△は増加)	292	△1,187
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△970	△1,453
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△3,354	△6
仕入債務の増減額 (△は減少)	△580	△1,722
未払金の増減額 (△は減少)	△864	△184
未払費用の増減額 (△は減少)	△252	116
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	2,695	△2,565
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△82	△73
その他	246	854
小計	9,587	9,013
利息及び配当金の受取額	231	259
利息の支払額	△89	△74
法人税等の支払額	△3,865	△3,820
法人税等の還付額	37	35
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,902	5,413
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△120	△56
子会社株式の取得による支出	△1,686	—
有形固定資産の取得による支出	△5,295	△5,610
有形固定資産の売却による収入	55	37
無形固定資産の取得による支出	△60	△393
貸付けによる支出	△190	△6
貸付金の回収による収入	338	5
その他	△121	228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,081	△5,796
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△55	△30
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△9	△300
社債の発行による収入	—	4,997
社債の償還による支出	△200	△600
非支配株主からの払込みによる収入	—	72
配当金の支払額	△1,895	△2,144
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,012	△2,008
非支配株主への配当金の支払額	△4	△11
その他	△21	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,198	214
現金及び現金同等物に係る換算差額	△135	△154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,513	△322
現金及び現金同等物の期首残高	29,198	26,499
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,685	27,749

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の変更)

非連結子会社であった蘇州覓佳斯密封材料有限公司と蘇州双友汽車零部件有限公司は、連結財務諸表に及ぼす影響の重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日であった蘇州覓佳斯工業製品有限公司、NICHIAS (SHANGHAI) TRADING CO., LTD. および NICHIAS (SHANGHAI) AUTOPARTS TRADING CO., LTD. については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っておりましたが、連結財務情報のより適正な開示を図るため、当連結子会社3社、および第1四半期連結会計期間より新たに連結の範囲に含めている上記2社について、第1四半期連結会計期間より、連結決算日に仮決算を行う方法へ変更しております。

これらの変更に伴い、当該連結子会社の損益については、当第2四半期連結累計期間は2018年1月1日から2018年9月30日までの9か月間を連結しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2018年5月7日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式1,363,000株(株式併合前)を取得いたしました。

この自己株式の取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,008百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式の額が4,048百万円となっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	26,377	20,743	10,962	21,440	12,579	92,103	—	92,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,869	—	—	—	3,869	△3,869	—
計	26,377	24,612	10,962	21,440	12,579	95,973	△3,869	92,103
セグメント利益	1,879	3,002	2,105	2,289	295	9,572	—	9,572

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	33,061	22,857	13,245	22,534	14,866	106,567	—	106,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,746	—	—	—	4,746	△4,746	—
計	33,061	27,603	13,245	22,534	14,866	111,313	△4,746	106,567
セグメント利益	3,399	3,824	2,484	1,844	130	11,682	—	11,682

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

(株式の併合等)

当社は、2018年6月28日開催の第202期定時株主総会にて、株式併合(2株を1株に併合)について承認可決され、2018年10月1日付でその効力が発生しております。

## (1) 株式併合の目的

全国証券取引所は、「売買単位の集約に向けた行動計画」に基づき、2018年10月1日までに国内上場会社の普通株式の売買単位(単元株式数)を100株に統一することを目指しております。

当社は、東京証券取引所に上場する企業として、この趣旨を踏まえ、会社法第195条第1項に基づき、当社の単元株式数を1,000株から100株に変更することといたしました。

また、当社の単元株式数を1,000株から100株に変更するにあたり、投資単位を適切な水準に調整することを目的として、当社株式について2株を1株にする併合を実施しております。

## (2) 株式併合の内容及び時期

## ① 併合する株式の種類

普通株式

## ② 併合の方法・比率

2018年10月1日をもって、同年9月30日(実質同年9月28日)の最終の株主名簿に記載された株主の所有株式数を基準に、2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。

## (3) 併合により減少する株式数

併合前の発行済株式総数(2018年9月30日現在)	135,623,834株
併合により減少する株式数	67,811,917株
併合後の発行済株式総数	67,811,917株

## (4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式併合が与える影響は、サマリー情報に反映されております。

### 3. 補足説明資料

ニチアス株式会社(5393) 2019年3月期 第2四半期決算短信

#### 2019年3月期 第2四半期決算発表 補足資料

#### (1) 連結主要数値の推移

(単位:百万円)

	半期			通期					
	2018年3月期	2019年3月期		2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	
	第2四半期累計実績	第2四半期累計実績	前期比増減率	実績	実績	実績	実績	予想	前期比増減率
売上高	92,103	106,567	15.7%	158,939	170,430	180,363	197,495	210,000	6.3%
営業利益	9,572	11,682	22.1%	11,490	15,104	19,600	21,357	22,000	3.0%
営業利益率(%)	10.4%	11.0%		7.2%	8.9%	10.9%	10.8%	10.5%	
経常利益	9,880	12,208	23.6%	12,913	15,480	19,756	21,804	22,500	3.2%
経常利益率(%)	10.7%	11.5%		8.1%	9.1%	11.0%	11.0%	10.7%	
親会社株主に帰属する当期純利益	6,752	8,285	22.7%	7,532	6,669	13,409	14,956	15,300	2.3%
当期純利益率(%)	7.3%	7.8%		4.7%	3.9%	7.4%	7.6%	7.3%	
1株当たり当期純利益(円)	100.36	124.48	24.0%	62.84	51.88	100.41	222.73	230.24	—
総資産	181,284	201,448	11.1%	156,234	154,922	175,999	196,459	—	—
純資産	102,194	113,862	11.4%	78,893	85,665	97,890	109,705	—	—
自己資本	101,681	112,918	11.1%	78,132	84,879	97,367	109,195	—	—
自己資本比率(%)	56.1%	56.1%		50.0%	54.8%	55.3%	55.6%	—	—
有利子負債	23,762	28,251	18.9%	33,830	25,840	23,976	23,818	—	—
有利子負債比率(%)	13.1%	14.0%		21.7%	16.7%	13.6%	12.1%	—	—
設備投資額	6,357	6,135	△ 3.5%	2,788	4,287	9,775	12,772	14,000	9.6%
減価償却費	2,199	2,709	23.2%	4,659	4,598	3,969	4,800	5,500	14.6%
研究開発費	2,950	2,899	△ 1.7%	5,602	5,460	5,446	5,692	6,000	5.4%

※1 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第2四半期連結結果計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

※2 当社は2018年10月1日をもって普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### (2) 四半期連結業績推移

(単位:百万円)

	2018年3月期				2019年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	前期比増減率
売上高	44,424	47,679	48,767	56,624	52,701	53,865	13.0%
営業利益	4,661	4,910	5,500	6,285	6,466	5,216	6.2%
営業利益率(%)	10.5%	10.3%	11.3%	11.1%	12.3%	9.7%	
経常利益	4,831	5,048	5,818	6,106	6,706	5,501	9.0%
経常利益率(%)	10.9%	10.6%	11.9%	10.8%	12.7%	10.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,400	3,351	3,915	4,289	4,647	3,638	8.5%
当期純利益率(%)	7.7%	7.0%	8.0%	7.6%	8.8%	6.8%	

※本資料に掲載されている現在の計画、見通しなどのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られたデータを会社の判断に基づいて示しております。

従って、実際の業績は様々な要因により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。